



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月29日

上場会社名 株式会社小森コーポレーション 上場取引所 東  
コード番号 6349 URL <https://www.komori.com/ja/jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 持田 訓  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
グローバル経営管理統括本部長 (氏名) 橋本 巖 (TEL) 03-5608-7826  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	85,337	11.1	6,938	108.1	7,987	104.8	5,352	83.7
2025年3月期第3四半期	76,811	10.9	3,334	359.3	3,899	77.1	2,913	126.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 8,687百万円( 909.7%) 2025年3月期第3四半期 860百万円( △82.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	100.87	—
2025年3月期第3四半期	54.90	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	180,633	119,750	66.3
2025年3月期	172,915	115,499	66.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 119,750百万円 2025年3月期 115,499百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	48.00	68.00
2026年3月期	—	35.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	124,500	12.1	9,100	27.8	8,900	16.8	6,400	△11.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	53,478,840株	2025年3月期	53,478,840株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	416,048株	2025年3月期	419,711株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	53,061,027株	2025年3月期3Q	53,059,346株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成した見通しであります。実際の業績は、経済情勢、市場の動向、為替の変動等様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

決算説明会資料はTDnetで2026年2月4日 (水) に開示し、同日当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は比較的堅調に推移し、特に当第3四半期連結会計期間では米国の輸入関税政策をめぐる動きも決着し落ち着きを見せています。一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢等の地政学リスクが継続し、先行き不透明な状況が続きました。当社グループの売上高は、前年同期比11.1%増加の85,337百万円となりました。地域別連結売上高の状況は次のとおりであります。

地域別連結売上高の概況

		(単位：百万円)		
		前第3四半期 連結累計期間 (2024. 4. 1～2024. 12. 31)	当第3四半期 連結累計期間 (2025. 4. 1～2025. 12. 31)	増減率 (%)
売上高		76,811	85,337	11.1%
内訳	日本	24,471	24,153	△1.3%
	北米	5,696	10,029	76.1%
	欧州	15,985	19,242	20.4%
	中華圏	12,758	10,110	△20.8%
	その他地域	17,899	21,800	21.8%

日本市場では、物価上昇の鈍化と安定した雇用環境を背景に個人消費の持ち直しが継続しました。また、インバウンド需要は訪日観光客数が過去最高水準を更新し、内需主導による景気は緩やかな回復基調で推移しました。これを受け、基盤事業であるオフセット事業では省エネ性能を高める投資に加え、生産性向上や効率化等の合理化投資を進める動きが続きました。その結果、設備需要は堅調に推移し、売上高は24,153百万円と、ほぼ前年同期並みとなりました。

北米市場では、米国内での関税コストの価格転嫁による影響で個人消費や設備投資の減速が見られました。売上高は、証券印刷機と大型オフセット印刷機による売上高増加が寄与し、前年同期比76.1%増加の10,029百万円となりました。

欧州市場では、米国との関税交渉が決着し、不確実性が減少したため輸出の持ち直しが見られたことと、堅調な雇用・所得環境が個人消費を下支えし、景気の緩やかな回復が継続しました。売上高は、前連結会計年度の大規模展示会効果に起因した受注残高が寄与し、前年同期比20.4%増加の19,242百万円となりました。

中華圏市場では、不動産投資、大型インフラ投資の停滞等の影響が続いており、景気の減速傾向が見られました。印刷機械への設備投資については、大手顧客の合理化投資が続いたものの、商業印刷の中堅顧客を中心に投資に慎重な姿勢が見られました。売上高は、景気減速の影響に加えて前連結会計年度の価格改定前の駆け込み需要の反動により、前年同期比20.8%減少の10,110百万円となりました。

その他地域はアセアン・インド・オセアニア・中南米を含んでおります。その他地域では、経済規模の拡大とともに印刷設備の需要が伸びており、売上高は前連結会計年度の大規模受注の恩恵を受けたこともあり、前年同期比21.8%増加の21,800百万円となりました。

売上原価率は、品目別売上構成の違い等により、前年同期に比べ良化しました。販売費及び一般管理費は、前年同期に比べ、売上高の増加に伴う販売出荷費が増加したこと、研究開発費が増加したこと等により増加しました。この結果、営業利益は、6,938百万円(前年同期比108.1%増加)となりました。経常利益は、7,987百万円(前年同期比104.8%増加)となりました。税金等調整前四半期純利益は、8,416百万円(前年同期比100.8%増加)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、5,352百万円(前年同期比83.7%増加)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

セグメントの「日本」には、日本の国内売上高と日本から海外の代理店地域や海外証券印刷機の直接売上高が計上されております。同代理店地域には、一部のアジアと中南米等が含まれております。上記記載のそれぞれの地域での業績を反映した結果、セグメントの「日本」の売上高は40,484百万円（前年同期比1.5%減少）となり、広告宣伝費の減少等のため、セグメント利益は8,071百万円（前年同期比89.3%増加）となりました。

②北米

セグメントの「北米」には、米国の販売子会社の売上高が計上されております。地域別売上高の概況で述べました北米の状況の結果、セグメントの「北米」の売上高は10,083百万円（前年同期比77.0%増加）となり、セグメント利益は516百万円（前年同期は200百万円の損失）となりました。

③欧州

セグメントの「欧州」には、欧州の販売子会社、欧州の紙器印刷機械製造販売子会社グループ及び印刷後加工機製造販売子会社グループの売上高が計上されております。地域別売上高の概況で述べました欧州の状況の結果、セグメントの「欧州」の売上高は19,242百万円（前年同期比20.4%増加）となり、紙器印刷機械製造販売子会社の受注増対応による人的資本の投資等により、セグメント損失は2,135百万円（前年同期は1,312百万円）となりました。

④中華圏

セグメントの「中華圏」には、香港、中国深圳市、台湾の販売子会社及び中国南通市の印刷機械装置製造販売子会社の売上高が計上されております。地域別売上高の概況で述べました中華圏の状況の結果、セグメントの「中華圏」の売上高は7,617百万円（前年同期比21.0%減少）となり、セグメント利益は12百万円（前年同期比18.2%減少）となりました。

⑤その他

「その他」には、インド、シンガポール及びマレーシアの販売子会社の売上高が計上されております。地域別売上高の概況で述べましたその他地域の状況の結果、売上高は5,469百万円（前年同期比24.8%増加）となり、セグメント利益は480百万円（前年同期比29.1%増加）となりました。

当第3四半期連結会計期間の特記事項としては次のとおりです。

・日本国内のメンテナンスサービス体制の強化

当社は国内サービス体制の強化を目的に、2025年10月1日よりコンタクトセンターを開設しました。全国11拠点で分散していた技術相談・修理受付・部品注文等の電話窓口を統合し、サービス品質の均一化と対応スピードの向上を図っています。新センターでは、製品別の専用窓口で対応することで、お客様の利便性向上を実現します。また、機械に関するお問い合わせの24時間受付を整備し、より迅速で信頼性の高いサポートを提供できる体制を確立しました。これにより、国内サービス業務の効率化と顧客満足度の一層の向上を目指します。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ7,717百万円増加(4.5%増)し、180,633百万円となりました。資産の主な増加要因は、棚卸資産の増加5,908百万円、投資その他の資産の増加4,071百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加2,260百万円等であり、減少要因は、現金及び預金の減少7,746百万円等であります。

### (負債及び純資産)

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べ3,466百万円増加(6.0%増)し、60,882百万円となりました。負債の主な増加要因は、社債の増加9,000百万円、契約負債の増加1,906百万円、固定負債その他の増加1,283百万円等であり、減少要因は、1年内償還予定の社債の減少10,000百万円等であります。

純資産は前連結会計年度末に比べ4,251百万円増加(3.7%増)し、119,750百万円となりました。純資産の主な増加要因は、その他有価証券評価差額金の増加2,446百万円、為替換算調整勘定の増加1,096百万円、利益剰余金の増加913百万円等であり、減少要因は、退職給付に係る調整累計額の減少207百万円であります。

### (自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の66.8%から0.5ポイント減少し、66.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での2026年3月期の業績予想は、2025年5月14日に公表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,148	40,401
受取手形、売掛金及び契約資産	16,159	18,420
電子記録債権	2,231	3,433
有価証券	11,321	11,743
商品及び製品	21,228	22,481
仕掛品	12,378	16,465
原材料及び貯蔵品	8,885	9,452
その他	3,993	3,793
貸倒引当金	△307	△309
流動資産合計	124,039	125,884
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,221	9,058
その他（純額）	12,561	13,586
有形固定資産合計	20,782	22,645
無形固定資産		
のれん	1,131	1,088
その他	1,357	1,339
無形固定資産合計	2,488	2,427
投資その他の資産	25,604	29,676
固定資産合計	48,875	54,749
資産合計	172,915	180,633

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,442	7,419
電子記録債務	7,388	7,582
短期借入金	191	697
1年内償還予定の社債	10,000	-
未払法人税等	2,110	2,229
契約負債	16,195	18,102
引当金	2,177	1,459
その他	7,658	8,692
流動負債合計	53,163	46,183
固定負債		
社債	-	9,000
長期借入金	114	77
退職給付に係る負債	970	1,179
引当金	24	14
その他	3,143	4,426
固定負債合計	4,252	14,698
負債合計	57,416	60,882
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	37,714	37,714
資本剰余金	37,286	37,286
利益剰余金	31,306	32,220
自己株式	△380	△378
株主資本合計	105,927	106,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,601	8,048
為替換算調整勘定	2,958	4,054
退職給付に係る調整累計額	1,011	803
その他の包括利益累計額合計	9,571	12,907
純資産合計	115,499	119,750
負債純資産合計	172,915	180,633



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	76,811	85,337
売上原価	49,661	53,340
売上総利益	27,149	31,996
販売費及び一般管理費	23,815	25,057
営業利益	3,334	6,938
営業外収益		
受取利息	143	209
受取配当金	371	389
為替差益	-	435
その他	198	282
営業外収益合計	713	1,316
営業外費用		
支払利息	70	193
為替差損	28	-
その他	48	74
営業外費用合計	147	267
経常利益	3,899	7,987
特別利益		
固定資産売却益	157	116
投資有価証券売却益	140	319
その他	16	-
特別利益合計	314	435
特別損失		
固定資産売却損	3	4
固定資産除却損	4	2
災害による損失	14	-
特別損失合計	23	6
税金等調整前四半期純利益	4,190	8,416
法人税、住民税及び事業税	1,258	3,315
法人税等調整額	19	△251
法人税等合計	1,277	3,064
四半期純利益	2,913	5,352
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,913	5,352

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,913	5,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,539	2,446
為替換算調整勘定	447	1,096
退職給付に係る調整額	39	△207
その他の包括利益合計	△2,052	3,335
四半期包括利益	860	8,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	860	8,687

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,638百万円	1,677百万円
のれんの償却額	210	203

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期 連結財務諸表 計上額
	日本	北米	欧州	中華圏	計				
売上高									
外部顧客への売上高	41,099	5,696	15,985	9,648	72,429	4,381	76,811	—	76,811
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,924	4	304	1,338	18,571	127	18,699	—	18,699
計	58,023	5,700	16,289	10,986	91,000	4,509	95,510	—	95,510
セグメント利益又は損 失(△)	4,263	△200	△1,312	14	2,765	372	3,138	195	3,334

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、シンガポール及びマレーシアの販売子会社であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,765
「その他」の区分の利益	372
棚卸資産の調整額	76
セグメント間取引消去	223
その他の調整額	△103
四半期連結損益計算書の営業利益	3,334

## 3. 固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「欧州」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に、当社連結子会社であるKomori Chambon S.A.S.が、米国子会社Komori Chambon USA Corporationを通じて米国有数のロータリーダイツール・メーカーであるBernal, LLCの行うロータリーダイツールの製造・販売・サービス事業を譲受しました。

当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、1,174百万円であります。

なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 財務諸表 計上額
	日本	北米	欧州	中華圏	計				
売上高									
外部顧客への売上高	40,484	10,083	19,242	7,617	77,427	5,469	82,897	2,439	85,337
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23,560	39	181	1,374	25,155	168	25,324	—	25,324
計	64,045	10,122	19,423	8,991	102,583	5,638	108,222	2,439	110,661
セグメント利益又は損 失(△)	8,071	516	△2,135	12	6,465	480	6,946	△7	6,938

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、シンガポール及びマレーシアの販売子会社であります。

(注2) 外部顧客への売上高に関する調整額の内容は以下のとおりであります。

報告セグメントにおいて代理人として処理した取引のうち、他の当事者がセグメント間に存在するため、四半期連結損益計算書上では本人として処理される取引額2,493百万円が含まれ、履行義務の充足に応じて一定期間にわたり収益を認識する取引について、セグメント間取引における進捗度の調整額△53百万円が含まれております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	6,465
「その他」の区分の利益	480
棚卸資産の調整額	△0
セグメント間取引消去	201
履行義務の充足に係る進捗度調整	△53
その他の調整額	△154
四半期連結損益計算書の営業利益	6,938